

2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2020年8月14日

上場会社名 Chatwork株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4448 URL <https://go.chatwork.com/ja/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員CEO (氏名) 山本 正喜  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO兼コーポレート本部長 (氏名) 井上 直樹 (TEL) 03(6459)0514  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の業績 (2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,154	35.3	225	305.1	226	300.0	227	390.4
2019年12月期第2四半期	853	—	55	—	56	—	46	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年12月期第2四半期	6.22		5.73					
2019年12月期第2四半期	1.29		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,407	1,739	72.3
2019年12月期	2,008	1,478	73.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 1,739百万円 2019年12月期 1,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,450 ~2,541	35.0 ~40.0	231 ~359	197.4 ~362.8	233 ~363	273.8 ~483.1	272 ~421	343.5 ~586.6	7.44 ~11.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当期においては、競合・市場環境に対応し、機動的な投資判断が必要との観点から、営業利益以下の各段階利益については黒字を維持しつつ、具体的な金額予想は開示しない方針とさせて頂いておりました。また売上高については、Chatwork事業で前事業年度並みの前事業年度比40%以上、全社売上高では前事業年度比30%以上の成長を目標としておりました。

第2四半期累計期間においては、順調に成長を続けておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を想定し2020年12月期の業績予想については、レンジ形式による開示としております。詳細は添付資料P. 3「1. 当四半期に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期2Q	36,624,337株	2019年12月期	36,600,000株
2020年12月期2Q	41株	2019年12月期	1株
2020年12月期2Q	36,606,257株	2019年12月期2Q	36,000,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 業績の状況

当第2四半期累計期間において、継続的な事業成長の実現に向け、引き続き新規顧客獲得に向けた営業活動の強化、Webマーケティング活動の強化、既存サービスの機能強化に積極的に取り組んでまいりました。また、前事業年度までは、ソフトウェア開発に関わる費用に関しましては売上原価としておりましたが、当第1四半期よりソフトウェア開発に関わる費用の内、資産性がある新規開発プロジェクトについては無形固定資産として計上しております。この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高1,154,624千円、営業利益225,261千円、経常利益226,398千円、四半期純利益227,583千円となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りです。

#### (Chatwork事業)

Chatwork事業は、引き続き主力サービス「Chatwork」の利点を遡及し、新たな機能追加と顧客の開拓に努めました。以上の結果、売上高は987,946千円、セグメント利益は138,512千円となりました。

なお当事業が当社の主力事業であり、本社機能も含めて各間接費の全てが当事業の維持・拡大のために費やされていることから、間接費の全額を当事業における費用として計上しております。

#### (セキュリティ事業)

セキュリティ事業については、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。但し、足許は在宅ワーク環境拡大の影響を受けた結果、売上高は166,678千円、セグメント利益は86,748千円となりました。なお、当事業のセグメント利益については、前述のとおり間接費を全てChatwork事業にて計上していることから、当事業の売上高より当事業に要した広告宣伝費、販売促進費及び業務委託費等の直接経費のみを控除した金額を計上しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べて398,205千円増加し、2,407,187千円となりました。これは主に事業拡大により現金及び預金が182,607千円増加、売掛金が51,076千円増加したことによります。また、第1四半期会計期間より計上しました無形固定資産が74,776千円増加したことによります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて137,127千円増加し、667,636千円となりました。これは主に事業拡大にともなって前受金が81,080千円増加、未払金40,090千円が増加したことによります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて261,077千円増加し、1,739,551千円となりました。これは繰越利益剰余金が227,583千円増加したことによるものです。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて182,607千円増加し、1,714,376千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは259,719千円の収入となりました。主な内訳は、税引前四半期純利益226,398

千円の計上によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、77,039千円の支出となりました。主な内訳は、無形固定資産の取得による支出77,741千円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、72千円の支出となりました。主な内訳は、自己株式の取得による支出42千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予測におきましては全体売上高は前事業年度比30%以上、Chatwork事業では同40%以上の成長を目標としつつ、競合・市場環境の変化に対応し、機動的な投資判断が必要との観点から、営業利益以下の各段階利益は黒字としながら、ビジネスチャット市場の拡大とシェアの獲得を最重要と考え投資をおこなってまいりました。

2020年12月期第2四半期累計期間においては、順調に成長を続けております。第3四半期以降に関しましても新型コロナウイルス感染症による影響は追い風ではあるものの、社会情勢が流動的であることや、引き続き競合・市場環境の変化に柔軟に対応するために機動的な投資を進める方針であるため蓋然性の高い情報の開示が難しい一方、投資家の皆様に対して有用かつ合理的な情報提供をおこないたいという観点から、通期業績予想の開示をレンジ方式による開示とすることにいたしました。

全体売上高につきましては前事業年度比+35%~+40%と期初の業績予想を上回る見通しでございます。Chatwork事業の売上高は同+35%~+40%となる見通しでございます。レンジ上限につきましては新型コロナウイルス感染症によるテレワーク需要が引き続き増加した場合を想定しております。

売上総利益以下の段階利益につきましてはシステム原価の資産計上、コスト効率の改善により前事業年度を大幅に上回る見通しとなっております。業績見通しの詳細は下記の通りでございます。

売上高	2,450百万円	～	2,541百万円	(前期比)	+35%~+40%
Chatwork事業 売上高	2,159百万円	～	2,239百万円	(前期比)	+35%~+40%
売上総利益	1,786百万円	～	1,870百万円	(前期比)	+58%~+66%
営業利益	231百万円	～	359百万円	(前期比)	+197%~+363%
経常利益	233百万円	～	363百万円	(前期比)	+274%~+483%
当期純利益	272百万円	～	421百万円	(前期比)	+344%~+587%

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,531,768	1,714,376
売掛金	145,986	197,062
その他	112,631	150,529
流動資産合計	1,790,386	2,061,968
固定資産		
有形固定資産	84,055	77,902
無形固定資産	69	74,846
投資その他の資産		
その他	135,186	193,186
貸倒引当金	△716	△716
投資その他の資産合計	134,470	192,470
固定資産合計	218,595	345,219
資産合計	2,008,982	2,407,187
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	131,923	172,013
未払費用	75,481	79,426
未払法人税等	42,036	52,816
前受金	210,674	291,754
その他	70,393	71,624
流動負債合計	530,508	667,636
負債合計	530,508	667,636
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,358,138	1,374,906
資本剰余金	1,343,998	1,360,766
利益剰余金	△1,223,663	△996,080
自己株式	—	△42
株主資本合計	1,478,473	1,739,551
純資産合計	1,478,473	1,739,551
負債純資産合計	2,008,982	2,407,187

## (2) 四半期損益計算書

第2 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2 四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2 四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	853,438	1,154,624
売上原価	323,076	304,650
売上総利益	530,361	849,973
販売費及び一般管理費	474,755	624,712
営業利益	55,606	225,261
営業外収益		
受取利息	2	6
固定資産売却益	—	1,138
補助金収入	750	—
雑収入	910	—
その他	—	22
営業外収益合計	1,664	1,166
営業外費用		
為替差損	668	—
株式交付費	—	30
営業外費用合計	668	30
経常利益	56,602	226,398
税引前四半期純利益	56,602	226,398
法人税、住民税及び事業税	21,512	36,907
法人税等調整額	△11,317	△38,092
法人税等合計	10,194	△1,184
四半期純利益	46,407	227,583

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	56,602	226,398
減価償却費	12,804	13,399
株式報酬費用	—	1,863
敷金および保証金償却	2,722	623
受取利息	△2	△6
株式交付費	—	30
補助金収入	△750	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	716	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,138
売上債権の増減額(△は増加)	△12,415	△51,076
未払金の増減額(△は減少)	△46,519	36,208
未払費用の増減額(△は減少)	4,589	3,945
未払法人税等の増減額(△は減少)	4,040	△711
前受金の増減額(△は減少)	40,173	81,080
その他	1,231	△25,487
小計	63,192	285,128
利息の受取額	2	6
補助金収入の受取額	750	—
法人税等の支払額	△5,828	△25,415
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,117	259,719
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△26,868	△17,716
有形固定資産の売却による収入	—	18,454
無形固定資産の取得による支出	—	△77,741
差入保証金の差入による支出	△13,230	△36
差入保証金の回収による収入	789	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,308	△77,039
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による支出	—	△30
自己株式の取得による支出	—	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△72
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18,808	182,607
現金及び現金同等物の期首残高	611,287	1,531,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	630,096	1,714,376



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			(単位：千円)
	Chatwork事業	セキュリティ事業	計	合計 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	748,140	105,297	853,438	853,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	748,140	105,297	853,438	853,438
セグメント利益	2,285	53,320	55,606	55,606

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当社における主力事業はChatwork事業であり、本社機能も含めて間接費の全てがChatwork事業の維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatwork事業にて計上しております。

当第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			(単位：千円)
	Chatwork事業	セキュリティ事業	計	合計 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	987,946	166,678	1,154,624	1,154,624
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	987,946	166,678	1,154,624	1,154,624
セグメント利益	138,512	86,748	225,261	225,261

(注) 1. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当社における主力事業はChatwork事業であり、本社機能も含めて間接費の全てがChatwork事業の維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatwork事業にて計上しております。

(重要な後発事象)  
該当事項はありません。